



○岐阜県教育ビジョンの基本

- ・自立力→自ら学び考え行動できる
 - ・共生力→豊かな人間関係を広げ深めていく
 - ・自己実現力→高い志をもって夢に挑戦していく
- 豊かで活力ある地域づくりに貢献できる地域社会人の育成

○高山市小・学校教育の重点
挑戦し続けるたくましさの育成

達成感と貢献感を積み重ねることが挑戦するエネルギーになる

○学校課題

◇子どもに力をつける小中一貫教育の推進

- ・どんな環境でも自分らしく生きる力の育成
- ・考えをもって主体的に行動できる個の育成
- ・自ら学ぼうとする意欲の育成
- ・確かな学力(知・徳・体)の育成
- ・仲間の思いを汲み、共に高まる人間関係力

■学校の教育目標

進んでやりぬく宮小の子 ~やさしく かしく たくましく~

■育てたい資質・能力

自分の考えをもち、進んで対話する力

【指標と3つの視点】

- ①どの子どもも自分の考えを持つための基礎学力をつける。
- ②自分の考えを示すためには考えのもととなる根拠が必要であり、どんな環境であってもたくましく生き抜いていくための必要な力をつける。
- ③コミュニケーション能力を重視し、一方通行ではなく双方向やりとりで、相手を尊重しながらも自分の道を切り拓く力をつける。

やさしく
すべての子に居場所と絆を

- ・なりたい自分に向けて、願いを持たせ・努力を認め、達成感を味わわせる
- ・仲間のよさやがんばりを見つけ、その思いを想像できる児童
- ・物を大事に扱う児童
(服をたたむ、机を持ち上げて運ぶ)
- ・正しい判断と行動ができる児童
- ・心の健康づくり…教育相談の充実

かしく
学力に責任を持つ

- ・説明するのではなく気づかせる指導
- ・わくわくする課題設定
- ・授業での児童が選択する場の位置づけ
- ・終末→何ができるようになったか「きらりタイム」で児童も教師も振り返り
- ・対話、伝える力
- ・見方・考え方を大切にした授業
- ・ICTを生かした授業
- ・教科担任制の拡大

たくましく
児童(保護者・地域)と共に創る

- ・一之宮学の実施
- ・郷土での疑似体験や話を聞く会
- ・「早寝早起き朝ごはん」と「眠育」の生活習慣の確立
- ・位山タイムでのあそび(体づくり)
- ・地域講師の活用
(ふれあいタイム お話玉手箱)
- ・スクールサポーターの見守り活動

《キーワード》

良さの実感とパートナーシップ

学校教育目標具現のため、自分の考えをもち、進んで対話する力の育成のため、パートナーシップの姿勢を大切に、学びの良さを実感し、根拠に基づき言い切れる児童を育てる。

「安心・安全を確保し児童と共に創造する宮小職員」

- ・根拠を基に言い切れる子どもを育てる職員
- ・教師同士が気軽に何でも相談できる職員室
- ・授業力をつけ、主体性を伸ばし、真に児童に力をつける教師
- ・児童の「言葉」と「心」に耳を傾け、常に高いアンテナを持ち、迅速に対応する教師
- ・いじめ、不登校の未然防止と早期発見・対応のできる教師・組織
- ・「かっこいい大人」、「美しい大人」の人間モデルとなる教師の姿勢
- ・自身の心身の健康管理ができる教師(超過勤務45時間の意識と勤務)



学校運営委員会と学園連絡会を通した保小中、保護者、地域との連携

◎一之宮地域に根ざした「保・小・中連携教育」の推進

- ・願いの共有……地域と学校との「育てたい資質能力」の共有と見届け
- ・地域教育の推進……地域を知る ~総合的な学習を核に「一之宮学」のさらなる推進~
- ・学習環境の整備……地域人材による学習支援・兼務を生かした学び方の共有

